

教科	介護総合演習	学科・学年	社会福祉科 2年	単位数	1 単位
目標	1. 介護実習に必要な知識を身に付ける。 2. 介護実習にスムーズに入れるよう、記録物を準備し、目標や計画を立てる。 3. 介護実習において適切な記録をとる力を身に付ける。 4. 介護実習を客観的に振り返り、次の実習に向けての課題を設定できる。				
評価方法	1. 授業態度、出席状況 2. 授業プリントの記入状況および提出状況 3. 課題の提出状況 4. 定期テストの成績 などから総合的に評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】 介護実習や実習先である施設・事業所、サービスを受けている利用者のことを理解するよう努める。 【思考・判断】 介護実習に向けて適切な準備ができる。介護における問題を考え、解決を図ることができる。 【技能・表現】 介護実習の目標や計画を適切に立てることができる。 【知識・理解】 実習先である施設や事業所と、そこで提供されるサービスを理解できる。				
使用教科書	介護総合演習（メヂカルフレンド社）				
使用副教材					
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	授業ガイダンス 1. 介護実習の意義と目的	☐ 介護総合演習における主な学習内容と目標を理解する ☐ 今年度の介護実習の意義と目的を理解する ☐ 実習への意欲と実習での目標をもつ	・授業ファイルの作成 ・授業プリントの記入・提出		
5	2. 実習Ⅰの展開	☐ 介護技術の実践を軸にした実習の目的と目標を理解する ☐ 利用者の生活を支援するための介護技術の展開を考える	・授業プリントの記入・提出		
6	3. 実習施設の理解	☐ 1年次の実習を踏まえて、特別養護老人ホームと介護老人保健施設の実態を理解する	・授業プリントの記入・提出		
7	4. 介護実習の準備	☐ 個人票や出席簿の作成を行う ☐ 適切な実習目標を立てられる	・個人票、出席簿、目標等の記入・提出 ・期末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐		
反省					
8	夏期課外 実習先事前訪問	☐ 介護実習に必要な介護技術を身につける ☐ 実習先を訪問し、実習のオリエンテーションを受ける	・オリエンテーション、施設の概要の記入		

9	5. 介護実習の準備 6. 情報交換(1)	☐ 実習に必要な記録物を揃える ☐ 適切な実習記録が作成できる ☐ 介護実習で学んだことを発表し、体験の共有をする ☐ その週の実習を振り返り、今後の課題を設定する ☐ 実習の申し送りをする	【提出物】 ○特別養護老人ホーム ・申し送り書 ☐ ・礼状 ☐ ・報告会資料 ☐ ・実習日誌 ☐ ○介護老人保健施設 ・申し送り書 ☐ ・礼状 ☐ ・報告会資料 ☐ ・実習日誌 ☐ ○訪問介護事業所 ・申し送り書 ☐ ・礼状 ☐ ・報告会資料 ☐ ・実習日誌 ☐
10	7. 礼状作成	☐ 手紙の書き方を学び、実習先への礼状を作成する	
11	8. 実習先の概要 9. 情報交換(2)	☐ 訪問介護事業所の機能や訪問介護サービスの概要を理解する ☐ 介護実習で学んだことを発表し、体験の共有をする ☐ その週の実習を振り返り、今後の課題を設定する ☐ 実習の申し送りをする	
12	10. 礼状作成 11. 実習報告会	☐ 手紙の書き方を学び、実習先への礼状を作成する ☐ 介護実習で学んだことを発表する	
反省			
1	12. 事例演習	☐ 実習で体験した、介護における困難事例を持ち寄り、その対応策を検討する ☐ 問題解決の方法を考える	・授業プリントの記入・提出
2	12. 事例演習	☐ 実習で体験した、介護における困難事例を持ち寄り、その対応策を検討する ☐ 問題解決の方法を考える	・授業プリントの記入・提出
3	13. 実習の評価	☐ 今年度の介護実習を振り返り、学んだことをまとめる ☐ 実習目的の達成度の評価する ☐ 次年度の介護実習に向けての課題を設定する	・学年末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
反省			